

平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

新潟県

行 事 名 称	文化財防火訓練
実施期間・日時	平成30年1月28日（日） 8:00～9:00
実 施 場 所	見附市杉沢町1288番地 閻魔堂 見附市杉沢町1359番地 杉沢町集落開発センター
主 催 者	見附市消防本部

■実施内容

訓練の想定

午前8時00分、杉沢町閻魔堂から出火したとの想定

訓練の内容

近隣への周知、119番通報 重要物品（代替品）の搬出
放水訓練 初期消火訓練（消火器） 講話

参加者及び役割分担

地域住民（7名）：119番通報・近隣への周知・重要物品搬出・初期消火訓練
地元消防団（14名）：放水訓練
消防本部（12名）：全体統括・放水訓練・初期消火指導・講評
教育委員会（1名）：講話・訓練現場立会い

特に工夫した点

例年防火訓練を実施してきた寺社だけでなく、今回の閻魔堂のような地域に点在する小規模な仏堂であっても被災の危険性があることを認知させるため、地域住民による物品搬出訓練、初期消火訓練を行い、火災発生時の作業を確認した。

問題点・課題

今回の訓練は休日朝に実施したこともあり、多くの地域住民等から協力が得られた。しかし、実際に災害が起きる時間帯や状況は様々で、今回のように迅速に協力を得られるか、未確定な要素が多くある。あらゆる状況に対応できるように日頃から地域での連携を図り、体制を整えておくとともに、有事の際の物品持ち出し等の対応をあらかじめ定めておくことが重要と考える。

その他

第一に火災を起こさない予防活動が重要であるとともに、地域にある文化財を住民自らが守っていくという意識や連携体制を日頃から作っておくことも重要と考える。そのためにそれぞれの地域が持つ文化財について普及啓発を継続的に進めていく必要がある。

訓練風景



重要物品持ち出し



放水訓練（消防本部・消防団）



初期消火訓練